

# FD 研究部会活動報告書

平成 22 年 5 月

徳島文理大学

徳島文理大学短期大学部

# FD 研究部会活動報告書

## 目次

1. はじめに	1
2. FD活動の内容	2
3. 研修会・講演会	4
4. 全学授業評価アンケート	6
5. 研究授業	9
6. 卒業生満足度評価アンケート	11
7. おわりに	13

### 付属資料

1 FD研究部会会議	16
2 研修会・講演会	19
3 全学授業評価アンケート	24
4 研究授業	35
5 卒業生満足度評価アンケート	41

## 1. はじめに

平成 20 年 12 月 24 日に中央教育審議会が取りまとめた「学士課程教育の構築に向けて」（答申）によると、大学は社会からの信頼に応え、国際通用性を備えた学士課程の構築を実現すべきであるとしている。そのためにはディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの 3 つの方針に貫かれた教学経営を行うことが肝要であることを強調している。「三つの方針」に貫かれた教学経営を行う上で、教職員の資質・能力の果たす役割は極めて大きいと指摘している。

「大学設置基準第 25 条の 3」に「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」と明記されており、「短期大学設置基準第 11 条の 3」にも同様な主旨が記載されている。教員の教育能力向上が上記学士課程の構築に欠かせないことから、平成 20 年度より学部 FD が義務化されることになった。

本学は 9 学部 26 学科を擁する総合大学である。各学部のこれまでの FD 活動（授業改善の取組み）は、質的、量的に別々に進められていた。そこで、組織的に FD 活動に取り組むには、FD 活動を全学的に展開した方が効率的、効果的であり、かつ、浸透性があると考え、学部 FD 実施の義務化に対応して、平成 18 年度に本学はまず研究会を設置した。本研究会の目的は、FD 活動の周知と必要性を教職員で共有することとして、活動は主として研修会、講演会の開催から始めた。

平成 19 年 12 月に、教育開発機構の中に全学的組織として「FD 研究部会」が新たに発足した。FD 研究部会の目的は「FD 活動の推進と支援」と定め、教育・研究支援グループと共同で本学全体の FD 活動の実施に向けて、取組みを始めた。FD 研究部会は短期大学部を含む 9 学部と教育・研究支援グループより選出された委員で構成されている。発足後、ほぼ毎月 1 回の割合で FD 研究部会を開催し、平成 22 年 3 月までに、臨時 FD 研究部会を含む計 24 回の FD 研究部会を開催し、FD 活動を推進してきた。

平成 19 年 12 月から平成 20 年 3 月までは、FD 研究部会の活動準備期間として、FD 研究部会の基本方針、運営方法及び活動方針・計画の決定に費やし、実際の活動は平成 20 年 4 月より開始した。ここに、発足時から平成 22 年 3 月までの FD 研究部会の活動内容を報告書としてまとめた。

## 2. FD 活動の内容

平成 22 年 3 月までに臨時 FD 研究部会を含む計 24 回の FD 研究部会を開催し、4 項目（1. 研修会・講演会、2. 全学授業評価アンケート、3. 研究授業、4. 卒業生満足度評価アンケート）に関する活動を行った。（付属資料-1）

### 2-1 研修会・講演会

研修会・講演会等の開催の目的は FD 活動について教員が理解を深め、教員が周知することであり、FD 活動に関する情報の収集としては成果を挙げた。

外部で開催された研修会・講演会へは FD 研究部会の委員が主として参加し、全国的な FD 活動の状況を把握し、今後の活動の指針とした。

平成 20 年度には「本学の FD を考える会」と題する研修会を一般教育研究部会と共催し、本学における FD に関する現状を報告するとともに、FD 活動の周知を図った。教職員の参加は徳島キャンパスが約 180 人、香川キャンパスが約 110 人で、研修会後のアンケート結果によると、FD 活動への理解が深まったことが検証された。

平成 21 年度には、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education、SPOD)より講師を招聘し、これまでの授業評価アンケート・研究授業の結果を授業改善につなげる方策について講演会を開催した。質疑・応答も活発で、関心の高さが窺えた。上記の講演会でのアンケートの結果は、授業のスキル面に関して強い関心が示されたので、「授業・業務で使えるパワーポイント作成講座」と題して研修会を平成 22 年 3 月に両キャンパスで開催した。定員を上回る希望者があり、授業改善に必要なスキル面の重要性が改めて示された。

### 2-2 全学授業評価アンケート（全学共通の学生による授業評価アンケート）

本学では従来から、学部ごとに授業評価アンケートが実施されていた。しかしながら、その実施方法、評価内容及びアンケート結果の活用等については学部によって濃淡のあったこともまた事実である。FD 研究部会は、新たに大学全体として授業評価アンケートを実施した。授業改善に資するためには、大学全体での共通基準が必要であると判断したからである。

平成 20 年度から全学共通の授業評価アンケートを、まず試行的に、前期は各学科、各学年 1 科目（計 86 科目）を選び実施した。その結果を受けて、平成 20 年度後期及

び平成 21 年度前期・後期に、全科目についての授業評価アンケートを全学的、本格的に実施した。

対象科目は大学 8 学部、短期大学部併せて 700～800 科目、履修者数 30,000～40,000 人であり、回収率はおおよそ 80%であった。5 点満点スコアで評価された各項目の平均スコアは、おおよそ 4.0 との高い評価で、学生は授業に全体として満足していることが判明した。しかし、教員の熱意にも関わらず、学生は授業内容を十分に把握していないことが懸念された。今後は、教員の熱意が学生の授業内容の完全習得につながるよう改善に努める必要性が示された。

平成 21 年 3 月から、授業評価アンケートの結果が授業改善に反映されるように、教員はアンケート結果に対して、自己評価及び改善事項のフィードバックを書面で公開する方式を導入した。

平成 21 年度後期は前期に比べ、平均スコアはわずかではあるが、向上しており、授業評価アンケートが授業改善に貢献していることを示す証左である。

### 2-3 研究授業

本学では研究授業を「教員相互の授業参観」と理解し、協力を求めた。平成 20 年度前期の時点では、研究授業を行っている学部は 3 学部であった。研究授業の目的は、教員が学生の立場に立って授業に臨み、自分の授業改善に資することである。研究授業は他教員の感想・意見を参考にできるので、授業の改善に大きな支援となることが期待できる。

FD 活動の一環として、平成 20 年度後期より、徳島・香川両キャンパスの全学部で研究授業を実施した。実施した科目数は 29 で、各学部の研究授業実施数は異なっていた。しかし、平成 21 年度には、前期 22 科目、後期は 10 科目と減少した。減少の原因について改善策を検討している。

研究授業記録は新たに作成した全学共通フォーマットを用い、授業内容の自己評価及び授業参観者の感想・意見等を記録し保存している。

### 2-4 卒業生満足度評価アンケート

卒業生満足度調査の目的は、入学から卒業までの学生生活全般についての調査であり、その結果は、在学生及び今後入学してくる学生がより良い学生生活を楽しめるように改善を図るためである。平成 22 年 3 月、大学院、専攻科、大学学部、短期大学部の全卒業生 1,056 人について、全学的な卒業生満足度評価アンケートを初めて実施

した。回収率は 87.9%と高率であった。評価は授業評価と同様に 5 点満点スコアで行った。平均スコアはおよそ 4.0 との高い評価を受け、本学の教育・施設について満足度が高いことが明らかとなった。

### 3. 研修会・講演会

#### 3-1 現状

FD 活動を進めるにあたって、全教員はその意義や必要性、更には、具体的な取り組みのあり方等について、理解し、全学的に意識を共有しながら進めていくことが不可欠である。

このために、平成 20 年 9 月 19 日（徳島キャンパス）及び 9 月 26 日（香川キャンパス）で「本学の FD を考える会」を開催し、FD 活動の必要性、全学授業評価の実施、専門導入教育からの FD、入学前教育に対応する FD 活動等について研修を行った。参加教職員数は、徳島キャンパスが約 180 人、香川キャンパスが約 110 人であり、参加者のアンケート結果は、FD 活動の必要性についての理解が深まったことが窺えるとともに、今後の FD 活動への具体的な提言が多数出された。

平成 21 年度は、前年度までの FD 活動の成果を受け、7 月 28 日「授業改善への第一歩～授業評価アンケート・研究授業をどう活用するか～」の課題で前期研修会を徳島キャンパスで実施した。内容は四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) の運営に中心的に関わっている、愛媛大学教育・学生支援機構の佐藤浩章准教授による基調講演と本学における FD 活動の進捗についての報告であった。約 200 人の教職員が参加し、質疑・応答が活発に行われ、研修会後のアンケートでは、「今後の授業改善のために大変役立つ内容であった」が 59%、「参考にすべき内容が幾つかあり、まずまず良かった」が 41%と高い評価が得られた。その他にも FD 活動への要望・提言や感想が多数示され、FD 活動への理解の更なる深化と個々の教職員の積極的な取り組みへの動機付けが得られた。

平成 21 年度の後期は、前期研修会のアンケートにおいて希望の多かったスキルアップのための研修に取り組むこととし、特に近年授業等において導入が進められているプレゼンテーションソフトの習得を図るため、本学情報センターの協力を得て、「授業・業務で使えるパワーポイント作成講座」を、3 月 19 日（徳島キャンパス）及び 3

月 31 日（香川キャンパス）の両日開催したが、両キャンパスともにそれぞれ定員 20 名に対し、32 人（徳島）、24 人（香川）の参加申し込みがあり、スキル面での授業改善に、具体的な支援ができた。

FD 活動を適切に推進していくために、FD に関する大学外での情報を幅広く収集し、本学の状況に合わせて参照・反映していくことが必要である。このため、SPOD をはじめ、全国、関西、四国等さまざまな地区で開催される FD 関係の研修会・講習会等に、本学 FD 研究部会の委員を中心として派遣し、先端的な情報の収集や他大学との交流を図った。特に、徳島大学の「四国地区教職員能力開発ネットワーク」（T-SPOD）と緊密に連携した。T-SPOD 会議への出席は、本学の FD 活動の推進に大きく役立っている。（付属資料-2）

### 3-2 点検・評価

FD に関する研修会・講演会は、多くの教職員に FD 活動の必要性を理解させ、意識を高め、実際の授業改善に役立つスキルアップの機会を提供している。これまで本学においては、全学 FD 研究部会の主導のもと、こうした FD 研修の方向性に沿い、研修会・講演会を計画・実施してきた。

開催した研修会等については、一般的な研修、スキルアップのための研修に対し、教職員の積極的な関心と前向きな姿勢が見られ、研修会後のアンケートでも FD 活動の意味やそれに取り組む必要性などについての理解が深まっていることを確認できた。

これらのポジティブな反響は、FD に関する研修会・講習会が、本学教職員の意識変革、スキルアップの面で有意義な貢献を果たしていることを示している。

### 3-3 改善計画

FD 活動は Plan、Do、Check、Action（PDCA）サイクルに従って進化・発展していくことが求められる。研修会・講演会は、こうしたサイクルのステップアップのために重要な契機の一つとなるものである。

FD 活動の当初の段階では、FD の理解・周知を主な目的として、研修会・講演会では、一般的な内容の研修を行ってきた。しかし、教職員全般の理解が深まってくると、スキル面を含め、今後の研修内容について、再検討が必要となってきた。

このため、FD 研究部会は進捗状況を適切に把握した上で、大学教育を取り巻く環境の変化や教職員の具体的なニーズを踏まえながら、教員が要望する課題に対応した

研修会・講演会を、着実に開催していく計画である。

更に、ICT(Information and Communication Technology、情報通信技術)の活用などを含め、個々の教員の教育力の向上発展につながるような研修の機会づくりに取り組んでいく。あわせて、SPOD を含め他大学等との連携等により FD 活動に関する情報の収集や研修資源の活用を広範囲に進める。

## 4. 全学授業評価アンケート

### 4-1 現状

平成 19 年度に新設された保健福祉学部を除いた 8 学部は、独自に授業評価アンケートを従前から行っていた。しかし、学部の特性によって質問の内容や方法、結果の活用の仕方は異なっていたが、この努力は各学部の教育内容の改善に一定の成果を挙げている。

平成 20 年度から全学部で一斉に授業評価アンケートを実施するにあたり、各学部は今まで実施していた授業評価アンケートの全質問 103 項目を見直し、共通の質問を選び、8 項目の質問を新たに設定した。その内訳は、学生自身の取組みについて 1 項目、授業内容及び方法について 5 項目、授業全体について 2 項目である。最後に「授業に関する感想・意見」についての自由記述の質問を設けたが、これはコンピュータによる集計の対象とはしなかった。

平成 20 年度の前期は試行的に、学科毎に 1 学年につき 1 科目を選択して実施した。86 科目数、回答者数は 3,257 人、履修者数に占める回答率は 82.9% である。この結果は全学で実施することが十分に可能であることが明らかとなった。

後期は全専任教員を対象として 785 科目について実施した。実習、実技、履修者が 10 人未満の授業は除いた。回答者数は大学 23,836 人、短大 3,007 人の合計 26,843 人である。回答率は大学 77.4%、短大 81.1%、全体では 77.8%であった。回収した授業評価アンケートは業者によって集計された後、結果とともに授業担当者に返却された。授業担当者はその結果についての感想、来年度の改善点などを書いたフィードバックシートを作成して教育・研究支援グループに提出するとともに、学内掲示等の方法によって一定期間、学生に開示した。また、大学と短期大学部それぞれの集計結果を大学のホームページに掲載・発表した。



平成 21 年度は、平成 20 年度の実施状況や結果を踏まえ、授業評価アンケートの質問項目を見直した。学生自身の取組み、授業内容及び方法に関して 1 項目ずつ追加して 10 項目とした。

平成 21 年度前期の実施科目数は大学 688 科目、短期大学部 102 科目、合計 790 科目であった。回答者数は大学 29,468 人、短期大学部 3,753 人、合計 33,221 人である。回答率は大学 81.0%、短期大学部 86.5%、全体で 81.6%であった。後期の実施科目数は大学 596 科目、短大 104 科目、合計 700 科目で、回答者数は大学 22,283 人、短期大学部 3,006 人、合計 25,289 人で、回答率は大学 76.1%、短期大学部 79.2%、全体で 76.5%であった。

平成 21 年度の実施科目が平成 20 年度より減少した理由は、オムニバス形式の授業の場合、授業評価アンケート実施時に担当した教員のみが対象者となったためである。調査後は前年度同様にフィードバックシートを作成し、一定期間、学生に開示し、フィードバックシートは保存した。(付属資料-3)

## 4-2 点検・評価

### (1)実施について

回収率は平均すると 8 割近くあり、大多数の学生の意見が反映されている。初めて全専任教員を対象に行った平成 20 年度後期では、一部の教員に「忘れていたため試験時に行った」など若干の問題があったが、平成 21 年度は実施・回収ともに特段の問題はなかった。教員の中に、対象科目や実施の方法等について理解が行きわたり、今後はより円滑な実施ができると思われる。

### (2)アンケートの結果について

評価の平均値は 4.0 であり、授業に対する満足度は高いと考えられる。全体として短期大学部のポイントの方が高く、平成 21 年度では大学 3.9、短期大学部 4.1 となっていた。

質問項目毎に見ると、Ⅱ-3「授業に対する教員の熱意は感じられましたか」が、大学・短期大学部ともに最もポイントの高い項目であった。次いで、大学ではⅠ-1「あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか」、Ⅲ-1「この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか」、一方短期大学部ではⅢ-2「総合的に見て、この授業はよかったですと思いますか」とⅠ-1「あなたはこの授業に集中し、理解しようと

努めましたか」が高いポイントを得た。

最もポイントが低い項目は、大学・短期大学部ともにⅠ-2「あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか」である。次いで大学ではⅡ-6「授業の説明はわかり易かったですか」、Ⅱ-4「授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか」、短期大学部ではⅡ-1「授業内容はシラバスにそっていましたか」とⅡ-4「授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか」に関する項目が低かった。

以上の結果から、学生は授業に概ね満足しており教員の熱意を高く評価していることがわかった。しかし、それが必ずしも予習復習などの積極的な学習態度や内容の理解に結びつかず、特に大学では、「授業に集中し、理解しよう」と努めたにもかかわらず、授業が分かり易くなかった、進め方が適切でなかったと感じている学生が多いことが懸念される。このような特徴が浮かび上がったこと自体は、授業評価アンケートの成果の一つであり、今後の課題として検討する。

### (3)フィードバックについて

平成 20 年度後期から、1 ヶ月の期間を設けて教員のフィードバックシートを公開した。その方法は教員に委ねられており、研究室のドア等に掲示したり冊子にして学生の目に触れる場所に置いたりしている。しかし、掲示期間が休暇中にかかるため、実際に読む学生は少ないこともあった。一部に公開していない教員がいることも問題点としてあげられた。

## 4-3 改善計画

### (1)学部・学科としての取組み

全学授業評価アンケートの結果をもとに、個々の教員がよりよい授業に向けて努力すべきであることは言うまでもないが、学部学科単位での取組みも検討する必要がある。学科ごとの単純集計だけでなく、科目群・学年毎の集計や成績・出席率等とのクロス集計を行うことによって、学科の特徴や問題点を把握することができる。そうしたデータをもとに、学科や同じ科目群の担当者同士が情報交換の機会をもつことで、新しいアイデアとともに、問題解決の糸口を得ることができるのではないかと考える。1 クラス当たりの受講者数（クラスサイズ）、教室の学生収容数等についても、学部・学科単位で検討することが可能になってくる。教員が協力しあって授業全体を改善していく体制作りが見えてきた。

## (2)各学部用設問の活用

授業評価アンケートのⅣには「各学部用」として独自の質問を5項目まで設定できるようにした。ここには学部・学科の特性に応じた質問や、改善を図るための具体的な質問を設ける機会とした。たとえば、ポイントの低かった項目について、さらに詳細な質問をすることによって問題点を明確にする、改善を試みた点について学生の評価を問う目的である。

シラバスと関連付けた質問は、計画—実践の検証という観点から有効である。たとえば、漠然とした満足度ではなく、シラバスに掲げた到達目標を達成したかどうかを問うことで、より具体的な授業の成果を知ることができる。学生にとっては試験前の時期に授業を振り返り、重要事項を再認識させるという教育効果もある。今後、効果的なシラバスの書き方とそれに合わせた各学部用設問の活用方法について検討したい。

## (3)フィードバックの徹底

教員のフィードバックは、教員の授業に対する真摯な態度を学生に伝えるとともに、教員と学生の双方向の努力によって授業改善が成されることを理解させる重要なコミュニケーションである。学生はフィードバックシートを読むことで、授業評価アンケートに誠実に答えた学生の気持や評価する能力の向上を実感できる。しかし、前述のようにその趣旨は、まだ十分に浸透しているとは言い難く、経験を積むことも必要である。学科毎に一つの会場で公開するなど多くの学生の目に触れるような方法を工夫する必要もある。

# 5. 研究授業

## 5-1 現状

本FD研究部会が、以前に実績調査を行った結果によると、研究授業を行っている学部は、9学部の内平成20年度前期で3学部があり、目的・手法に違いがあった。全学で研究授業を実施するにあたって、次のように共通理解を図った。

### (1) 目的

本学では、研究授業を「教員相互の授業参観」と解釈し、協力を求めた。その目的は、教員が学生の立場に立って授業に臨み、自分の授業改善に資することである。すなわち、参観した教員は、授業の担当教員に対して、よりよい授業展開への有効なアドバイスを提供するとともに、他者の授業を参考にして、自身の授業方法を改善する手掛かりを学ぶことを目的とした。

### (2) 方法

各学部は学期初めに授業を公開する教員を定める。教員は、授業を公開する科目を選定する。研究授業の当日、担当教員は授業を公開し、他の教員はその授業を参観する。90分の授業のうち、約60分を授業参観とし、学生が退席した後、約30分を授業担当教員と参加した教員が共に、担当教員の授業行動全般、学生の反応、授業者と学生の相互作用などに着目して討議し、その結果を記録に残す。

なお、研究授業ごとに定めた各学部の支援教員は、研究授業が円滑に行われるように、研究授業の公告、授業の円滑な進行、討議の記録などを授業担当教員と協力して行った。

### (3) 実施状況

平成20年度後期より、徳島・香川両キャンパスの全学部で研究授業を実施した。平成20年度後期の実施科目数は29科目、平成21年度前期の実施科目数は22科目、後期は10科目であった。研究授業実施数は、各学部で異なっている。研究授業記録は新たに作成した全学共通フォーマットを用い、授業内容自己評価及び授業参観者の感想・意見を記録し、保存している。（付属資料-4）

## 5-2 点検・評価

大学の講義は、従来、各教員の専権事項として他者から見えない傾向があったが、本活動により、授業を全学的に公開できたことに、まず意義があった。同僚の教員の参観を受けることにより、授業を担当する教員は緊張感を持って授業に取り組む効果がある。

一方、この1年半の実施科目数は、明らかに減少傾向にある。その原因の一部として次のことが推定された。(a) 授業は全学部学科の教員に対して公開しているが、各教員が参観する授業は通常、所属学科の科目である。同一学期に多数の科目が研究授

業の対象となっても、一人の教員が参観する授業の数は限定される。一部の授業では、参観する教員数を確保するのに苦労したとの報告もあった。(b) 研究授業の目的が必ずしも全教員に浸透していないため、教員の参加意識が高いとは言えない。(c) 教員が授業を公開することに積極的でない場合もある。

研究授業の記録によれば、討議は概ね熱心に行われているが、教員相互の授業改善のための相互啓発というよりも、授業を担当する教員の授業評価と解釈されやすい。他者の授業を他山の石として自らの授業改善に活かすという認識・自覚はまだ薄いように思われる。

### 5-3 改善計画

この2年間の活動により、研究授業を全学で実施する段階まで到達したが、実施結果を各教員の授業改善に直接活かす方法については模索中である。授業評価アンケートで行っているようなフィードバックシートを準備して、全教員が他者の授業参観から得た自らの授業への改善点を文章化することも必要と思われる。

## 6. 卒業生満足度評価アンケート

### 6-1 現状

本FD研究部会は、平成21年度より徳島・香川両キャンパスの大学院、専攻科、大学8学部、短期大学部の新卒業生全員を対象とした卒業生満足度評価アンケートの一斉実施を企画し、準備を進めてきた。

これは、本学を巣立っていく学生に在学中の学生生活を様々な観点から振り返り、率直な評価と忌憚のない意見をいただき、本学の教育・研究活動に生かすことを主目的とするものである。データは、集計と分析を行った上で、学生にとってより充実した学生生活を送ることができる大学へと改善を進めていくための基礎資料の一つとして活用される。

卒業生満足度評価アンケートは卒業式を間近に控えた2～3月に新卒業生が集まる時間を選んでシートを配布、その場で記入・マークし、回収する対面方式とした。持ち帰り後日持参ないし郵送回収の手法も検討したが、初回の実施ということもあり、直接卒業生満足度評価アンケート実施の趣旨説明をした上で回答してもらうことと

した。有効回答率は9割に及び、当日の欠席者を除けば、卒業生ほぼ全員の回答を得ることができ、極めて有効な卒業生満足度評価アンケートの調査となった。（付属資料-5）

## 6-2 点検・評価

卒業生満足度評価アンケートの評価項目は、5 カテゴリー、23 項目について行った。評価は5点満点とし、最も満足度の高い評価が5.0となる。

### (1) 記入者

記入者である卒業生本人の、性別、クラブ活動参加状況、在学中の居住形態、卒業後の進路について質問した。これは、今後、年次ごとに調査を重ねて時系列的なクロス集計を行う際の指標とするためのものである。本年度は調査開始年で単年度データであるのでこれらの項目は分析対象としなかった。

### (2) 授業・教育課程

授業・教育課程について、5つの評価項目を設問とした。授業科目の充実度、教員の熱意に対する項目が4.3～4.2と極めて高い評価を得た。この結果は、ほとんどの卒業生から、満点の5、もしくは4と高く評価されたことを意味しており、大いに勇気づけられた。しかし、免許や資格を取得する課程の充実度については、学部により免許や資格取得の難易度が大きく異なるため評価にもばらつきがあった。今後の指針を得るためには、詳細な分析を進めた上で、設問表現の再検討などが必要と思われた。

授業・教育課程の総合的な満足度評価は、全学生平均4.1が得られており、在学中に本学で勉学に励み、高い満足度を持った卒業生を多く輩出することができたことを物語っている。

### (3) 施設及び支援体制

大学の施設及び各種の支援体制の満足度については、9つの評価項目を設問とした。授業科目の履修支援、図書館の利用、授業等に必要な設備についての評価が高く、特に、学習支援に対する満足度が極めて高い評価が明らかになった。その一方で、食堂、購買、コンビニや情報設備、ソフトウェアの充実度については、徳島キャンパスと香川キャンパスとでは、満足度に温度差が認められており、今後の改善を検討していく上で考慮すべき点が示された。また、キャリアサポートや経済支援（奨学金等）

体制の一層の充実が期待されている。

#### (4) キャンパスライフ

本学での学生生活をより多角的にとらえるためにキャンパスライフについて 4 つの評価項目を設問とした。信頼できる教員や友人に出会えましたかという項目は 4.5 という最高のスコアであった。キャンパスの清潔度や大学周辺の生活環境についても極めて高い評価であった。ただ、大学周辺の生活環境については、平坦で交通の便利な市街地に位置する徳島キャンパスに対し、丘陵の上で周辺に商店が少なく公共交通の脆弱な香川キャンパスでは明確な差が出ていた。自由記述欄に通学の大変さを記述した卒業生もあり、経済・家庭の事情から遠距離自宅通学生が増えつつある状況に鑑み、よりきめの細かい支援を行う必要がある。

#### (5) 総合評価

最後に、本学での学生生活を総合評価する項目では、平均値 4.4 と、極めて高い満足度評価が得られた。

### 6-3 改善計画

平成 21 年度に初めての試みとして、徳島・香川両キャンパスを通じて、全学部共通の評価項目で卒業生満足度評価アンケートを実施した。調査開始年のため比較・対照すべきデータはないが、まずまずの結果であり、卒業生満足度評価アンケートの内容、実施方法等においても特段の問題はなかった。今後は、本年度の結果を生かすべくより詳細な分析を加えるとともに、評価項目や設問の表現方法などにもさらに検討を加えながら、毎年実施してデータを蓄積することが大切である。その上で、本学における学生生活がより満足度の高いものとなる資料として活用されるよう分析を進めていく計画である。

## 7. おわりに

学士課程の FD 義務化に対応するために、本学は平成 20 年度より、各学部から選出された委員で構成される、全学的組織である FD 研究部会を発足させた。FD 活動を授業改善活動と認識し、その目的に沿って、これまでに述べた 4 つの項目についての活動を行い、一定の成果を収めた。しかし、FD 活動を遂行する過程で、いくつか

の課題が明らかになってきた。それらの課題について、FD 活動全般に関わる課題及び各項目に関わる課題に別けて記載する。

## 7-1 FD 活動全般に関わる課題

### (1) FD 活動結果の評価と公開

FD 研究部会が行った、4 項目の活動については計画(Plan:P)、実行(Do:D)は特に問題も無く行うことができた。評価(Check:C)、改善(Action:A)も FD 研究部会で行うことは可能であった。しかし、完全な公開も視野に入れた評価、改善を行うためには、公正性、客観性、透明性の観点から、外部委員あるいは FD 専門委員が必要と考えている。

### (2) FD 専門家 (FD ファシリテーター) の養成

前述の如く、FD 研究部会委員は各学部から選出されており、教科担当専任教員である。当初の目的である、FD 活動の理解と周知は 4 つの項目についての活動過程で行うことは可能であった。しかしながら、今後 FD 活動の質を高めるためには、PDCA サイクルの遅滞無き、円滑な展開が必要である。そのためには(1)に記載のように、FD ファシリテーターの養成が急務である。

## 7-2 各項目に関わる課題

### (1) 研修会・講演会

研修会・講演会への参加及び開催は情報の収集には優れている。当初は FD 活動の理解と周知が目的であり、一般的な内容でその目的は達成された。しかし、各教員の理解が深まった現在では、どのような情報が FD 活動達成のために必要かについて内容の再検討が必要である。

### (2) 授業評価アンケート

授業評価アンケートでは、学生の要望を把握すること及び教員のフィードバックシートにより、授業を通じて教員と学生間での双方向情報の共有が行われ、授業の改善が認められている。全学授業評価アンケートでは、全学生に授業に関する共通の評価項目を設定して実施した。今後は、全学共通の評価項目に加えて、各学部がそれぞれ



の課題に対応した学部独自の評価項目を設定して問題に対処していく必要がある。

### **(3) 研究授業**

研究授業は参観教員からの感想、意見を伺うことにより、客観的に自身の授業を眺めることができ、授業評価アンケートと並んで授業改善に効果的な方法であると考えられたが、実際には実施回数が減少した。その理由として既に何点かが指摘されているが、研究授業の本来の目的や意義がまだ十分に理解されていないところに大きな要因があると思われる。今後は、研究授業についての更なる、理解と運用方法の改善が必要である。また、正当に授業評価をするための教員側の研鑽に期待したい。

### **(4) 卒業生満足度評価アンケート**

平成 22 年 3 月に、第 1 回卒業生満足度評価アンケートを行ったが、回収率、結果から判断して、円滑に進行し、満足すべき評価が得られた。しばらくは、同様な計画で実施したい。

最後に、FD (Faculty Development) とは一般的には「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組みの総称」とされる。本 FD 研究部会では、全学的組織として発足したばかりであることから、短期的には FD 活動を授業改善活動として捉え、これまでに、上記 4 項目を計画し、実行してきた。今後は、上記 4 項目の継続的な実施に加え、上記で明らかとなった課題を克服しつつ、FD 活動の評価体制の整備及び公開に力点を置き、FD 活動を推進したい。

# 付属資料-1

## FD 研究部会会議

- 1-1 FD 研究部会
- 1-2 FD 研究部会委員一覽表
- 1-3 FD 研究部会議事録(別 CD 資料)

## FD 研究部会

平成 19 年度

第 1 回学部 FD 研究部会	平成 19 年	12 月	13 日
第 2 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	2 月	14 日
第 3 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	3 月	21 日

平成 20 年度

第 4 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	4 月	23 日
第 5 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	5 月	21 日
臨時学部 FD 研究部会	平成 20 年	5 月	28 日
第 6 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	6 月	18 日
第 7 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	7 月	30 日
第 8 回学部 FD 研究部会	平成 20 年	9 月	3 日
第 9 回 FD 研究部会 (本部会の名称を FD 研究部会と改称した。)	平成 20 年	10 月	2 日
第 10 回 FD 研究部会	平成 20 年	10 月	31 日
第 11 回 FD 研究部会	平成 21 年	1 月	22 日
第 12 回 FD 研究部会	平成 21 年	2 月	23 日
第 13 回 FD 研究部会	平成 21 年	3 月	25 日

平成 21 年度

第 14 回 FD 研究部会	平成 21 年	4 月	30 日
第 15 回 FD 研究部会	平成 21 年	5 月	25 日
第 16 回 FD 研究部会	平成 21 年	6 月	22 日
第 17 回 FD 研究部会	平成 21 年	8 月	7 日
第 18 回 FD 研究部会	平成 21 年	9 月	29 日
第 19 回 FD 研究部会	平成 21 年	10 月	27 日
第 20 回 FD 研究部会	平成 21 年	11 月	24 日
第 21 回 FD 研究部会	平成 21 年	12 月	21 日
第 22 回 FD 研究部会	平成 22 年	2 月	8 日
第 23 回 FD 研究部会	平成 22 年	3 月	24 日

## FD 研究部会委員一覧表

	平成 19 年度 (2007)	平成 20 年度 (2008)	平成 21 年度 (2009)
部 会 長	嶋本 典夫	嶋本 典夫	嶋本 典夫
委 員	松本 博次	松本 博次	庄野 文章
	福谷 八一	福谷 八一	祝 賢治
	ディアズ 幸子	ディアズ 幸子	古田 昇
	庄野 文章	庄野 文章	橋田 誠一
	玉有 繁	玉有 繁	玉有 繁
	児島 輝美	児島 輝美	ディアズ 幸子
	下田 裕輔	下田 裕輔	福谷 八一
	祝 賢治	祝 賢治	児島 輝美
事務局	中原 祐一	中原 祐一	中原 祐一
	名越 一二三	名越 一二三	古田 澄恵
	鈴木 恵梨子	鈴木 恵梨子	中村 修
	古田 澄恵	古田 澄恵	—
オブザーバー	藤木 博太	藤木 博太	藤木 博太

## 付属資料-2

### 研修会・講演会

- 2-1 研修会・講演会実施一覧(学内)
- 2-2 研修会・講演会参加一覧(学外)
- 2-3 T-SPOD 会議参加一覧
- 2-4 研修会・講演会プログラム及びアンケート(別 CD 資料)

2-1

## 研修会・講演会実施一覧(学内)

### ① FD 講演会

平成 21 年度

日 時	平成 21 年 7 月 28 日 (火) 16 : 00 ~ 17 : 30
場 所	徳島キャンパス 23203 教室
講 師	佐藤浩章准教授 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長)
演 題	効果的な授業改善の技法～授業評価アンケート・研究授業をどう活用するか～

### ② FD 研修会

平成 20 年度

日 時	平成 20 年 9 月 19 日 (金) 15 : 15 ~ 17 : 30
場 所	徳島キャンパス 23504 教室
講 師	池上政弘教授、村松信一教授、赤木正明教授、箕田康一准教授、嶋本典夫教授
演 題	本学の FD を考える会

日 時	平成 20 年 9 月 26 日 (金) 15 : 15 ~ 17 : 30
場 所	香川キャンパス図書館 3F AV ホール
講 師	池上政弘教授、村松信一教授、赤木正明教授、箕田康一准教授、嶋本典夫教授
演 題	本学の FD を考える会

平成 21 年度

#### A コース

日 時	平成 22 年 3 月 29 日 (月) 15 : 00 ~ 17 : 00
場 所	徳島キャンパス 9501 教室
講 師	佐藤 實教授 (徳島文理大学情報センター所長)
演 題	授業・業務で使えるパワーポイント作成講座

#### B コース

日 時	平成 22 年 3 月 31 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00
場 所	香川キャンパス図書館 1 階学習センター
講 師	佐藤 實教授 (徳島文理大学情報センター所長)
演 題	授業・業務で使えるパワーポイント作成講座

## 研修会・講演会参加一覧(学外)

(平成 20 年度)

開催日	名 称	主催者	開催場所	参加者
平成 20 年 5 月 31 日～ 6 月 1 日	第 56 回中国四国地区 大学教育研究会	中国・四国地区 大学教育研究会 実行委員会	鳥取大学	総合政策学部 池上政弘 一般総合科目 箕田康一 外国語 石崎一樹
平成 20 年 10 月 18 日	四国地区大学教職員能力 開発ネットワーク(SPOD) 設立 総会	愛媛大学 教育学生支援部 教育企画課	愛媛大学	香川薬学部 嶋本典夫
平成 21 年 2 月 28 日～ 3 月 1 日	第 14 回 FD フォーラム ～学生が身につけるべき 力とは何か～	(財)大学 コンソーシアム京都	龍谷大学 深草学舎	香川薬学部 嶋本典夫 総合政策学部 玉有 繁 理工学部 祝 賢治
平成 21 年 3 月 19 日	第 2 回 関西地区 FD 連絡 協議会主催 イベント・公開研究会 「授業評価から FD 評価へ」	関西地区 FD 連絡協議会	京都大学 百周年記念 ホール	総合政策学部 玉有 繁

(平成 21 年度)

開催日	名 称	主催者	開催場所	参加者
平成 21 年 5 月 30 日～ 5 月 31 日	第 57 回中国・四国地区 大学教育研究会	山口大学 大学教育機構	山口大学 吉田キャンパス	理工学部 祝 賢治
平成 21 年 6 月 13 日	IDE 地域連携 in 高知 「21 世紀の大学人力～ 大学連携による FD/SD の 取り組みを通して」	IDE 大学協会 中国・四国 支部	高知会館	香川薬学部 嶋本典夫
平成 21 年 6 月 27 日～ 28 日	FD ファシリテーター 養成研修	徳島大学 大学教育委員 会・FD 専門委員 会・SPOD	国立淡路 青少年交流の 家	香川薬学部 富永貴志 一般総合科目 溝口隆一
平成 21 年 9 月 9 日～ 10 日	SPOD フォーラム	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	愛媛大学 城北キャンパス	香川薬学部 嶋本典夫 教育・研究支援 グループ 中原祐一 保健福祉学部 大岡裕子 短期大学部 児嶋輝美 文学部 古田 昇
平成 21 年 12 月 25 日	「学生を変容させる 初年次教育」シンポジウム	河合塾	河合塾 千種校	理工学部 祝 賢治
平成 22 年 2 月 26 日	FD スキルアップ講座 「話し方講座」	四国地区大学 教職員能力開発 ネットワーク (SPOD)	香川大学 教育学部	保健福祉学部 大岡裕子
平成 22 年 3 月 3 日	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学 大学教育委員 会・FD 専門委員 会・SPOD	徳島大学	教育・研究支援 グループ 中原祐一 短期大学部 児嶋輝美
平成 22 年 3 月 6 日～ 3 月 7 日	第 15 回 FD フォーラム ～学生の学びを支える～	(財)大学 コンソーシアム京都	同志社大学 今出川 キャンパス	理工学部 祝 賢治



## T-SPOD 会議参加一覧

(平成 20 年度)

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
11月19日(水)	第1回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
12月24日(水)	第2回 T-SPOD 会議	T-SPOD	メール会議	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
1月26日(月)	第3回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
3月24日(火)	第4回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	香川薬学部 嶋本 典夫 教育・研究支援 グループ 中原 祐一

(平成 21 年度)

4月30日(木)	第1回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
6月4日(木)	第2回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
8月3日(月)	第3回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
10月26日(月)	第4回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一
1月28日(木)	第5回 T-SPOD 会議	T-SPOD	徳島大学開放実践 センター	教育・研究支援 グループ 中原 祐一

## 付属資料-3

### 授業評価アンケート

- 3-1 平成 20(2008)年度 前期・大学全体
- 3-2 平成 20(2008)年度 後期・大学全体
- 3-3 平成 21(2009)年度 前期・学部全体
- 3-4 平成 21(2009)年度 前期・短期大学部全体
- 3-5 平成 21(2009)年度 前期・大学全体
- 3-6 平成 21(2009)年度 後期・学部全体
- 3-7 平成 21(2009)年度 後期・短期大学部全体
- 3-8 平成 21(2009)年度 後期・大学全体
- 3-9 フィードバック依頼文
- 3-10 フィードバック様式
- 3-11 その他アンケート及びフィードバックデータ(別 CD 資料)

平成 20(2008)年度前期授業評価アンケート

実施期間	平成 20 年 7 月 1 日 (火) ～ 7 月 15 日 (火)
実施科目	86 科目、3,931 枚
フィードバック	平成 20 年 9 月 4 日 (木) ～ 9 月 25 日 (木)

平成 20(2008)年度後期授業評価アンケート

実施期間	平成 20 年 12 月 8 日 (月) ～12 月 22 日 (月)
実施科目	785 科目、34,515 枚
フィードバック	平成 21 年 1 月 26 日 (月) ～ 2 月 20 日 (金)

平成 21(2009)年度前期授業評価アンケート

実施期間	平成 21 年 7 月 6 日 (月) ～ 7 月 24 日 (金)
実施科目	790 科目、40,700 枚
フィードバック	平成 21 年 10 月 1 日 (木) ～10 月 30 日 (金)

平成 21(2009)年度後期授業評価アンケート

実施期間	平成 21 年 11 月 30 日 (月) ～12 月 19 日 (土)
実施科目	700 科目、33,072 枚
フィードバック	平成 22 年 2 月 12 日 (金) ～ 3 月 12 日 (金)

2008年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

							履修者数	3,931
							回答者数	3,257

I. あなたの授業の取り組みについて

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.17	1,177 36.3%	1,576 48.6%	369 11.4%	97 3.0%	26 0.8%	3,245	12
2									

II. 授業内容及び方法について

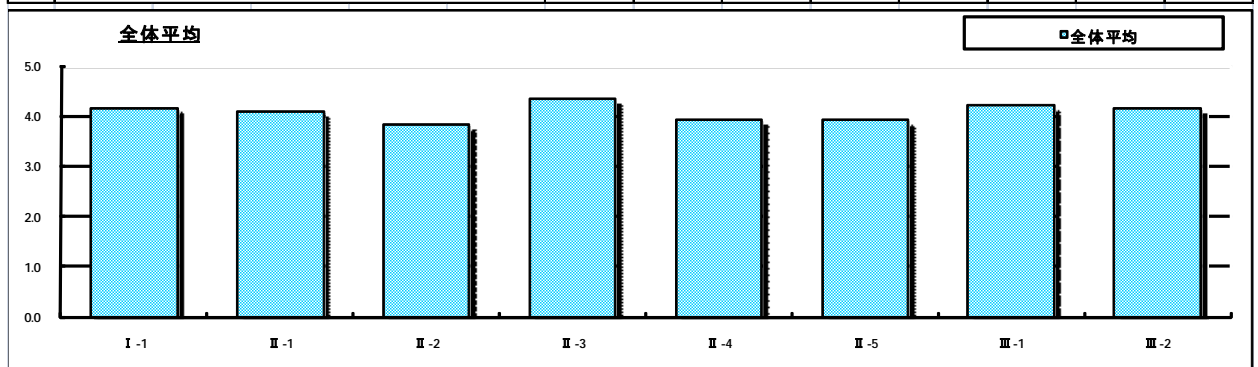
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.09	1,139 35.3%	1,330 41.3%	681 21.1%	50 1.6%	23 0.7%	3,223	34
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.83	755 23.3%	1,552 47.9%	641 19.8%	221 6.8%	73 2.3%	3,242	15
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.36	1,693 52.2%	1,127 34.8%	332 10.2%	64 2.0%	27 0.8%	3,243	14
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.94	1,104 34.0%	1,231 37.9%	596 18.4%	237 7.3%	78 2.4%	3,246	11
5	授業の説明はわかり易かったですか	3.92	1,061 32.8%	1,237 38.2%	646 20.0%	206 6.4%	84 2.6%	3,234	23
6									

III. 授業全体について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.21	1,411 43.5%	1,255 38.7%	461 14.2%	78 2.4%	39 1.2%	3,244	13
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.16	1,381 42.7%	1,195 37.0%	495 15.3%	109 3.4%	53 1.6%	3,233	24
3									

IV

No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



2008年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体) 徳島文理大学

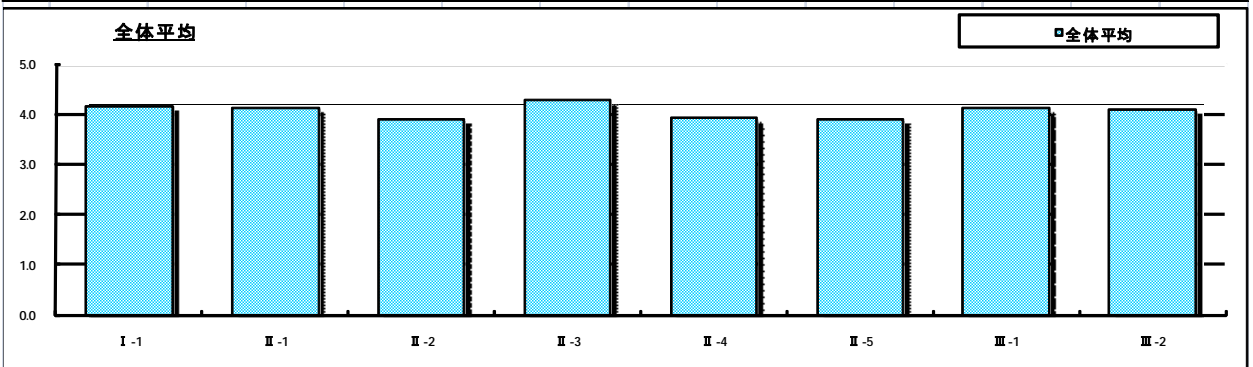
							履修者数	34,515
							回答者数	26,843

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.17	9,819 36.7%	12,584 47.0%	3,577 13.4%	575 2.1%	211 0.8%	26,766	77
2									

II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.13	9,878 37.0%	11,160 41.8%	5,172 19.4%	327 1.2%	183 0.7%	26,720	123
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.91	7,500 28.0%	11,924 44.6%	5,266 19.7%	1,473 5.5%	586 2.2%	26,749	94
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.26	12,693 47.5%	9,617 36.0%	3,545 13.3%	584 2.2%	306 1.1%	26,745	98
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.93	9,133 34.1%	9,875 36.9%	5,184 19.4%	1,829 6.8%	739 2.8%	26,760	83
5	授業の説明はわかり易かったですか	3.90	8,917 33.6%	9,549 36.0%	5,491 20.7%	1,777 6.7%	825 3.1%	26,559	284
6									

III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.11	10,348 38.7%	10,638 39.8%	4,496 16.8%	833 3.1%	410 1.5%	26,725	118
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.09	10,659 40.0%	9,827 36.9%	4,644 17.4%	987 3.7%	533 2.0%	26,650	193
3									

IV									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



## 2009年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(学部全体)

徳島文理大学

履修者数	36,359
回答者数	29,468

## I. あなたの授業の取り組みについて

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.13	10,152 34.5%	14,021 47.7%	4,248 14.4%	740 2.5%	246 0.8%	29,407	61
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.81	2,617 8.9%	5,863 20.0%	9,915 33.9%	5,121 17.5%	5,741 19.6%	29,257	211

## II. 授業内容及び方法について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	3.98	8,840 30.2%	12,127 41.4%	7,526 25.7%	502 1.7%	264 0.9%	29,259	209
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.86	7,757 26.4%	13,004 44.3%	6,092 20.8%	1,766 6.0%	718 2.4%	29,337	131
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.19	12,649 43.1%	11,256 38.4%	4,194 14.3%	819 2.8%	426 1.5%	29,344	124
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.84	9,118 31.1%	10,799 36.8%	6,002 20.5%	2,383 8.1%	1,041 3.5%	29,343	125
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.02	10,663 36.4%	11,181 38.1%	5,618 19.2%	1,215 4.1%	635 2.2%	29,312	156
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.82	8,863 30.3%	10,743 36.7%	6,293 21.5%	2,141 7.3%	1,232 4.2%	29,272	196

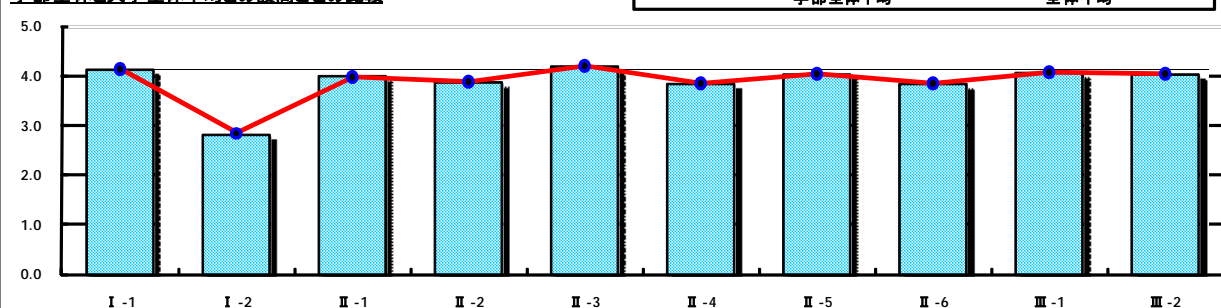
## III. 授業全体について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.05	10,433 35.7%	11,911 40.7%	5,394 18.4%	982 3.4%	521 1.8%	29,241	227
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.02	10,722 36.7%	11,052 37.8%	5,547 19.0%	1,161 4.0%	730 2.5%	29,212	256

## IV. 各学部用

No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									

学部全体と大学全体平均との設問ごとの比較



2009年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(短期大学部全体) 徳島文理大学

履修者数	4,341
回答者数	3,753

I. あなたの授業の取り組みについて

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.20	1,475 39.4%	1,690 45.1%	472 12.6%	77 2.1%	34 0.9%	3,748	5
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	3.04	474 12.7%	824 22.0%	1,370 36.6%	509 13.6%	565 15.1%	3,742	11

II. 授業内容及び方法について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.00	1,208 32.4%	1,462 39.2%	945 25.3%	72 1.9%	45 1.2%	3,732	21
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	4.03	1,291 34.5%	1,574 42.0%	655 17.5%	163 4.4%	62 1.7%	3,745	8
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.32	1,946 52.0%	1,230 32.9%	437 11.7%	82 2.2%	48 1.3%	3,743	10
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	4.00	1,418 37.9%	1,345 36.0%	654 17.5%	208 5.6%	114 3.0%	3,739	14
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.11	1,610 43.1%	1,248 33.4%	655 17.5%	122 3.3%	104 2.8%	3,739	14
6	授業の説明はわかり易かったですか	4.02	1,430 38.3%	1,337 35.9%	660 17.7%	193 5.2%	109 2.9%	3,729	24

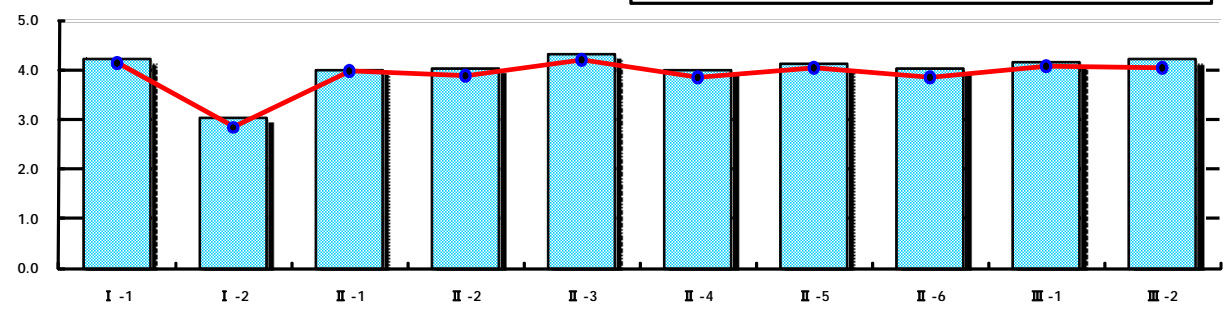
III. 授業全体について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.17	1,546 41.5%	1,444 38.8%	598 16.1%	82 2.2%	55 1.5%	3,725	28
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.21	1,716 46.1%	1,305 35.1%	524 14.1%	114 3.1%	63 1.7%	3,722	31

IV. 各学部用

No.	設問文	全体平均点	回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									

学部全体と大学全体平均との設問ごとの比較



## 2009年度前期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)

徳島文理大学

履修者数	40,700
回答者数	33,221

## I. あなたの授業の取り組みについて

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.13	11,627 35.1%	15,711 47.4%	4,720 14.2%	817 2.5%	280 0.8%	33,155	66
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.84	3,091 9.4%	6,687 20.3%	11,285 34.2%	5,630 17.1%	6,306 19.1%	32,999	222

## II. 授業内容及び方法について

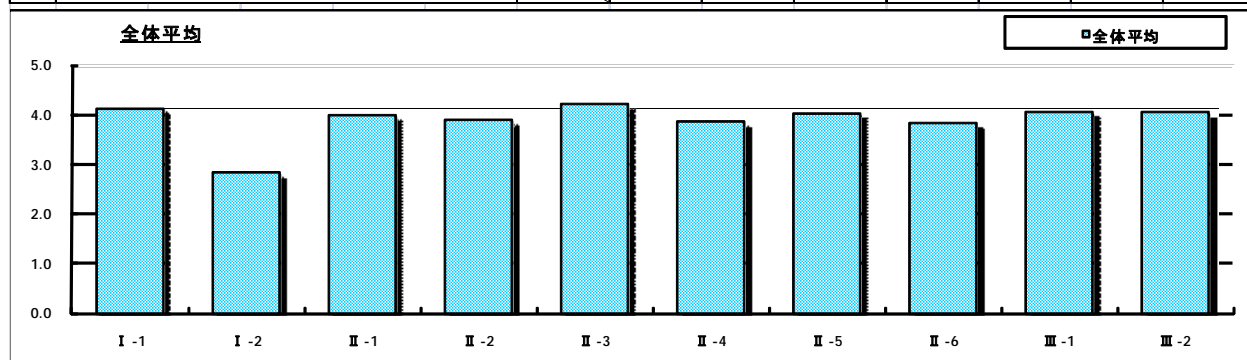
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	3.98	10,048 30.5%	13,589 41.2%	8,471 25.7%	574 1.7%	309 0.9%	32,991	230
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.88	9,048 27.4%	14,578 44.1%	6,747 20.4%	1,929 5.8%	780 2.4%	33,082	139
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.20	14,595 44.1%	12,486 37.7%	4,631 14.0%	901 2.7%	474 1.4%	33,087	134
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.86	10,536 31.8%	12,144 36.7%	6,656 20.1%	2,591 7.8%	1,155 3.5%	33,082	139
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.03	12,273 37.1%	12,429 37.6%	6,273 19.0%	1,337 4.0%	739 2.2%	33,051	170
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.84	10,293 31.2%	12,080 36.6%	6,953 21.1%	2,334 7.1%	1,341 4.1%	33,001	220

## III. 授業全体について

No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.06	11,979 36.3%	13,355 40.5%	5,992 18.2%	1,064 3.2%	576 1.7%	32,966	255
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.04	12,438 37.8%	12,357 37.5%	6,071 18.4%	1,275 3.9%	793 2.4%	32,934	287

## IV. 各学部用

No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



2009年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(学部全体) 徳島文理大学

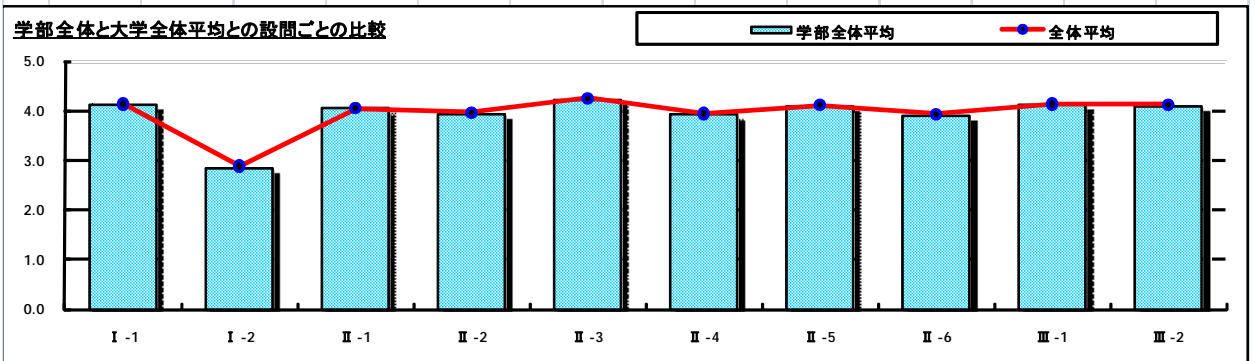
履修者数	29,278
回答者数	22,283

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.13	7,521 33.8%	10,927 49.2%	3,018 13.6%	561 2.5%	194 0.9%	22,221	62
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.85	2,125 9.6%	4,557 20.6%	7,465 33.7%	3,794 17.1%	4,204 19.0%	22,145	138

II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.04	7,246 32.7%	9,184 41.4%	5,275 23.8%	326 1.5%	128 0.6%	22,159	124
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.93	6,277 28.3%	10,149 45.7%	4,181 18.8%	1,177 5.3%	418 1.9%	22,202	81
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.23	9,906 44.6%	8,502 38.3%	3,001 13.5%	524 2.4%	258 1.2%	22,191	92
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.92	7,271 32.8%	8,460 38.1%	4,378 19.7%	1,481 6.7%	601 2.7%	22,191	92
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.10	8,740 39.4%	8,386 37.8%	3,848 17.4%	789 3.6%	402 1.8%	22,165	118
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.90	7,079 32.0%	8,491 38.3%	4,540 20.5%	1,379 6.2%	652 2.9%	22,141	142

III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数/下段: 回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.12	8,429 38.2%	9,045 40.9%	3,692 16.7%	626 2.8%	296 1.3%	22,088	195
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.10	8,444 38.3%	8,705 39.5%	3,840 17.4%	695 3.2%	372 1.7%	22,056	227

IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									





2009年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(短期大学部全体) 徳島文理大学

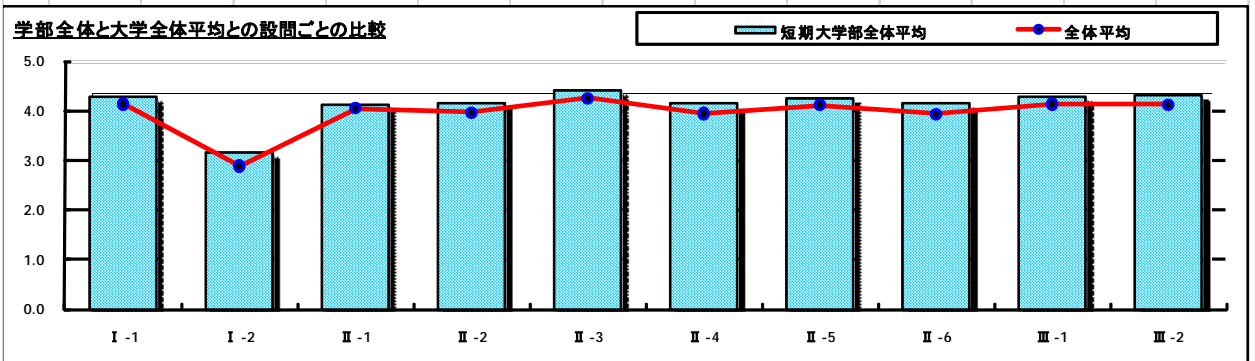
履修者数	3,794
回答者数	3,006

I. あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.27	1,242 41.4%	1,388 46.2%	324 10.8%	38 1.3%	11 0.4%	3,003	3
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	3.15	418 13.9%	718 23.9%	1,121 37.4%	379 12.6%	364 12.1%	3,000	6

II. 授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.11	1,123 37.5%	1,143 38.1%	687 22.9%	24 0.8%	20 0.7%	2,997	9
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	4.16	1,145 38.2%	1,314 43.8%	442 14.7%	73 2.4%	27 0.9%	3,001	5
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.41	1,671 55.7%	955 31.8%	317 10.6%	40 1.3%	19 0.6%	3,002	4
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	4.14	1,279 42.6%	1,074 35.8%	481 16.0%	111 3.7%	54 1.8%	2,999	7
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.26	1,456 48.6%	1,005 33.5%	437 14.6%	56 1.9%	42 1.4%	2,996	10
6	授業の説明はわかり易かったですか	4.14	1,269 42.4%	1,092 36.5%	470 15.7%	108 3.6%	54 1.8%	2,993	13

III. 授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.28	1,411 47.2%	1,099 36.7%	405 13.5%	49 1.6%	27 0.9%	2,991	15
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.31	1,480 49.6%	1,059 35.5%	360 12.1%	53 1.8%	31 1.0%	2,983	23

IV. 各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



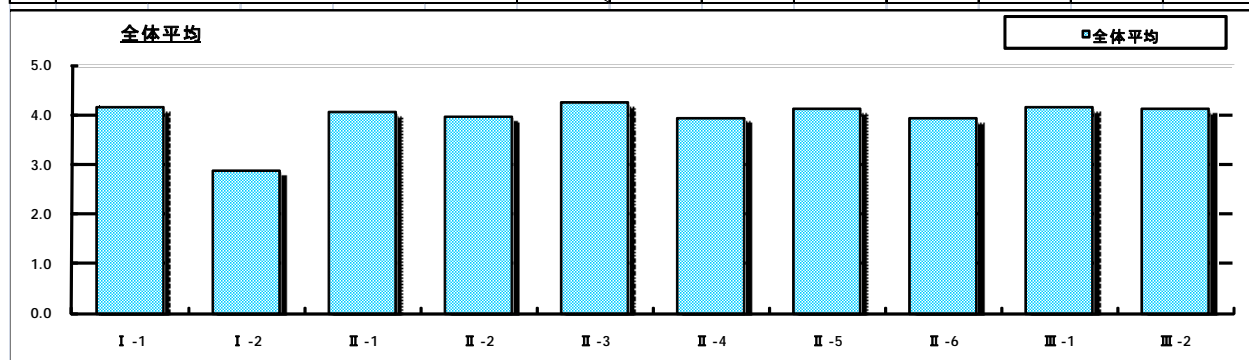
2009年度後期 授業に対する学生の評価アンケート集計結果(全体)							徳島文理大学	
							履修者数	33,072
							回答者数	25,289

I.あなたの授業の取り組みについて									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	あなたはこの授業に集中し、理解しようと努めましたか	4.14	8,763 34.7%	12,315 48.8%	3,342 13.2%	599 2.4%	205 0.8%	25,224	65
2	あなたはこの授業に関して、予習復習を十分に行いましたか	2.88	2,543 10.1%	5,275 21.0%	8,586 34.1%	4,173 16.6%	4,568 18.2%	25,145	144

II.授業内容及び方法について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業内容は、シラバスにそっていましたか	4.05	8,369 33.3%	10,327 41.1%	5,962 23.7%	350 1.4%	148 0.6%	25,156	133
2	この授業の目標や内容は理解できましたか	3.96	7,422 29.4%	11,463 45.5%	4,623 18.3%	1,250 5.0%	445 1.8%	25,203	86
3	授業に対する教員の熱意は感じられましたか	4.25	11,577 46.0%	9,457 37.5%	3,318 13.2%	564 2.2%	277 1.1%	25,193	96
4	授業の進め方(話し方・速さ・板書)は適切でしたか	3.94	8,550 33.9%	9,534 37.8%	4,859 19.3%	1,592 6.3%	655 2.6%	25,190	99
5	教科書や教材(プリントや視聴覚教材)は効果的に利用されていましたか	4.11	10,196 40.5%	9,391 37.3%	4,285 17.0%	845 3.4%	444 1.8%	25,161	128
6	授業の説明はわかり易かったですか	3.93	8,348 33.2%	9,583 38.1%	5,010 19.9%	1,487 5.9%	706 2.8%	25,134	155

III.授業全体について									
No.	設問文	全体平均点	上段:回答数/下段:回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業は新しい知識・技術の習得につながりましたか	4.14	9,840 39.2%	10,144 40.4%	4,097 16.3%	675 2.7%	323 1.3%	25,079	210
2	総合的に見て、この授業はよかったですか	4.12	9,924 39.6%	9,764 39.0%	4,200 16.8%	748 3.0%	403 1.6%	25,039	250

IV.各学部用									
No.	設問文	全体平均点	回答率(%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1									
2									
3									
4									
5									



教 員 各 位

FD 研究部会長 〇〇 〇〇

## 授業評価アンケートに対する教員のフィードバックのお願い

学生による授業評価アンケートの実施につきましては、ご理解ご協力を賜りありがとうございます。

学生による授業評価アンケートが、授業改善に大いに貢献していることは疑いの無いことと教員側では認識しています。しかしながら、授業評価アンケート結果が実際に活用されているにも関わらず、学生からは改善点が明瞭には見えていなかったことも事実と存じます。授業評価アンケートは、見方を変えると、学生の授業に対する要望であり、その要望に対して明確な返答をすることが、学生との信頼関係をさらに強固なものとし、結果としてより良い授業へ進展すると FD 研究会では結論いたしました。

そこで、より良い授業をおこない、加えて、より良い外部評価を得るために、教員の方々にはアンケート結果に対する返答（フィードバック）をお願い致したく存じます。つきましては、各先生方はアンケート集計結果をご覧になった後、添付のフィードバック表にご入力いただき、下記アドレスへご送信願います。

なお、アンケート集計結果とフィードバック表を以下のように活用いたしたいと存じます。

- ① 個々の授業評価アンケート結果については、担当教員が授業対象の学生に、集計結果とフィードバック表を対にして、〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日の間開示して下さい。

(例：各先生の研究室前に掲示するなど工夫してください)

- ② 集計結果とフィードバックは、学部あるいは学科としてまとめ、基本的には公表（冊子体、インターネット等）する。

\*提出先：徳島キャンパス [kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp](mailto:kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp)

香川キャンパス [handa@kagawa.bunri-u.ac.jp](mailto:handa@kagawa.bunri-u.ac.jp)

\*締め切り：〇〇月〇〇日 (○)

\*ファイル名：科目番号 担当教員名

半角数字

今後の更なる授業改善のため、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

**学生による授業評価アンケートに対する教員のフィードバック(様式)**

科 目 名 :	教 員 名 :
授 業 年 度 :	
所 属 学 部 :	
所 属 学 科 :	
学 年 :	
科目コード :	
1) 結果に対する意見・感想	
2) 結果を踏まえた来年度授業の改善点	
3) その他(これまでの授業評価アンケート結果を踏まえての改善点など)	

## 付属資料-4

### 研究授業

- 4-1 平成 20(2008)年度 後期 研究授業一覧
- 4-2 平成 21(2009)年度 前期 研究授業一覧
- 4-3 平成 21(2009)年度 後期 研究授業一覧
- 4-4 研究授業の記録(様式)
- 4-5 研究授業の記録(別 CD 資料)

#### 平成 20(2008)年度後期研究授業

実施期間	平成 20 年 10 月 4 日 (土) ～平成 21 年 1 月 15 日 (木)
実施科目	29 科目

#### 平成 21(2009)年度前期研究授業

実施期間	平成 21 年 6 月 8 日 (月) ～平成 21 年 7 月 16 日 (木)
実施科目	22 科目

#### 平成 21(2009)年度後期研究授業

実施期間	平成 21 年 10 月 26 日 (月) ～平成 22 年 1 月 18 日 (金)
実施科目	10 科目

平成20年度後期 研究授業(教員相互の授業参観) 一覧						
徳島キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
10月8日	水	4	短期大	商	PC文書作成実習Ⅱ	椿本晃久
10月28日	火	1	人間生活	人間生活	学校保健	中安紀美子
10月29日	水	4	薬	薬	生化学Ⅰ	富田基郎
11月5日	水	3	短期大	保育	保育原理	熊丸真太郎
11月11日	火	2	音楽	音楽	ピアノ公開レッスン	ジュゼッペ・マリオッティ
11月11日	火	2	保健福祉	人間福祉	障害者福祉論	小泉周臣
11月11日	火	3	人間生活	食物栄養	食品衛生学特論	犬伏知子
11月12日	水	1	人間生活	食物栄養	病理学	石堂一巳
11月14日	金	3	保健福祉	人間福祉	公的扶助論	古田治司
11月19日	水	3	保健福祉	看護	母性看護学概論	佐原玉恵
11月20日	木	1	人間生活	メディアデザイン	プログラミング演習	篠原靖典
11月20日	木	4	人間生活	住居	住宅材料学	丸岡理雄
11月21日	金	3	人間生活	心理	集団心理療法	牧 裕夫
11月28日	金	4	人間生活	児童	教育相談	田中吉資
12月2日	火	2	人間生活	住居	住宅設計論	田澤道生
12月5日	金	3	総合政策	総合政策	総合政策概論Ⅱ	松村豊大
12月8日	月	4	人間生活	児童	声楽	杉田昌子
12月12日	金	3	保健福祉	看護	高齢者看護学概論	吉永純子
12月16日	火	2	人間生活	メディアデザイン	社会調査論	古本奈奈代
1月15日	木	3	人間生活	心理	産業心理学	齋藤通明

平成20年度後期 研究授業(教員相互の授業参観) 一覧

香川キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
11月14日	金	1	工学部	電子情報工学科	推測統計学	多田哲生
11月14日	金	2	文学部	日本文学科	日本語文法概説B	青木 毅
11月14日	金	3	工学部	環境システム工学科	情報処理B	吉田知司
11月14日	金	3	工学部	機械創造工学科	熱力学Ⅱ	浦川卓朗
11月17日	月	2	香川薬学部	薬学科	微生物学	大島隆幸
11月18日	火	4	文学部	英米言語文化学科	英文法Ⅱ	篠田 裕
11月20日	木	3	文学部	文化財学科	文化財学概論	加藤 優
12月15日	月	4	工学部	臨床工学科	生体機能代行 装置学演習Ⅱ	田仲浩平
12月16日	火	2	工学部	ナノ物質工学科	高分子材料	岡島邦彦

平成21年度前期 研究授業(教員相互の授業参観)一覧						
徳島キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
6月9日	火	3	人間生活	食物栄養	臨床栄養管理論	津田 とみ
6月11日	木	5	短期大	保育科	保育内容総論	児嶋 輝美
6月12日	金	4	人間生活	住居	住生活環境学Ⅱ	川村 恭平
6月16日	火	1	保健福祉	看護	感染学	高橋 昌江
6月17日	水	3	人間生活	食物栄養	微生物学	杉 源一郎
6月25日	木	4	人間生活	人間生活	化学A	津下 英明
6月26日	金	2	人間生活	心理	人間発達学Ⅳ	中津 達雄
6月26日	金	3	薬	薬学科	生物有機化学	江角 朋之
6月30日	火	3	短期大	生活科学	食品学各論	伊勢 正伸
6月30日	火	1	総合政策	総合政策	経済と人間	南波 浩史
7月6日	月	1	人間生活	心理	犯罪心理学	山本 宏宜
7月6日	月	2	人間生活	児童	算数科教育法	福村 義博
7月8日	水	1	人間生活	児童	保育内容の研究	源 和昭
7月13日	月	5	音楽	音楽	実技A(管楽器)	川人 伸二
7月15日	水	1	人間生活	メディアデザイン	情報数学Ⅰ	福光 賢祐
7月16日	木	4	保健福祉	人間福祉	社会福祉援助技術演習Ⅱ	富澤 彰雄
香川キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
6月8日	月	4	理工	臨床工学	生体機能代行装置学演習Ⅰ	樫野 真
6月12日	金	2	文	文化財学	建築遺産論	藤村 泉
6月15日	月	3	文	日本文学	健康スポーツA	田子 孝仁
6月24日	水	1	理工	電子情報工学	情報処理Ⅱ	小林 郁典
6月24日	水	2	文	英米言語文化	ヨーロッパ文化史A(総合科目D)	林 学
7月8日	水	1	香薬	薬・薬科	薬理学B(旧分子薬理学1)	嶋本 典夫



平成21年度後期 研究授業(教員相互の授業参観)一覧						
徳島キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
10月26日	月	5	短期大	音楽	合唱	熊谷 公博
11月12日	木	2	総合政策	総合政策	社会学ベーシック	南 育弘
11月19日	木	1	保健福祉	人間福祉	生理学	相良 安信
12月15日	火	3	短期大	生活科学	食品学各論/服飾史	西藤 栄子
1月14日	木	2	保健福祉	看護	高齢者看護援助論	神農 今日子
1月18日	月	2	音楽	音楽	ソルフェージュ	井下 洋子
香川キャンパス						
授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	担当
11月10日	火	4	理工	ナノ物質工学	無機ナノ材料	千葉 潔
11月20日	金	2	文	日本文学	作家・作品研究B	中山 弘明
11月27日	金	2	香薬	薬学	生物科学1	宮澤 宏
12月7日	月	1	理工	機械創造工学	材料力学 I	祝 賢治

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (授業形態)	
授業協力者		科目コード	
日 時	平成 年 月 日	曜日	講時
対 象 学 生			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観者数	名		

## 付属資料-5

### 卒業生満足度評価アンケート

- 5-1 平成 21(2009)年度 学部・全体
- 5-2 平成 21(2009)年度 短期大学部・全体
- 5-3 平成 21(2009)年度 大学・全体
- 5-4 平成 21(2009)年度 大学院・全体
- 5-5 平成 21(2009)年度 専攻科・全体
- 5-6 平成 21(2009)年度 学部学科別データ(別 CD 資料)
- 5-7 平成 21(2009)年度 その他の実施に関するデータ(別 CD 資料)

平成 21(2009)年度

実施期間	平成 22 年 3 月 15 日 (月) ~平成 22 年 3 月 17 日 (水)
実施学科	47 学科・専攻科・研究科、1,056 枚

2009年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(学部全体)

徳島文理大学

対象者数	770
回答者数	674

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	321	353	0
	47.6%	52.4%	0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	136	115	44	34	328	17
	20.2%	17.1%	6.5%	5.0%	48.7%	2.5%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	242	421	0	6	5
	35.9%	62.5%	0.0%	0.9%	0.7%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	271	92	14	68	221	8
	40.2%	13.6%	2.1%	10.1%	32.8%	1.2%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.19	251 37.2%	325 48.2%	77 11.4%	16 2.4%	5 0.7%	674	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.01	174 25.8%	361 53.6%	112 16.6%	25 3.7%	2 0.3%	674	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.13	242 36.0%	315 46.8%	84 12.5%	24 3.6%	8 1.2%	673	1
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.22	271 40.4%	307 45.8%	72 10.7%	14 2.1%	7 1.0%	671	3
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	3.84	206 30.7%	247 36.8%	150 22.3%	46 6.8%	23 3.4%	672	2

III. 大学の施設および支援体制について

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	3.96	208 30.9%	288 42.8%	133 19.8%	29 4.3%	15 2.2%	673	1
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.63	175 26.1%	216 32.2%	175 26.1%	67 10.0%	38 5.7%	671	3
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.28	113 16.8%	157 23.3%	256 38.0%	99 14.7%	48 7.1%	673	1
4	体育施設は充実していましたか	3.69	165 24.5%	223 33.1%	225 33.4%	34 5.1%	26 3.9%	673	1
5	図書館は利用しやすかったですか	4.19	312 46.4%	232 34.5%	84 12.5%	33 4.9%	11 1.6%	672	2
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.93	210 31.2%	277 41.1%	133 19.7%	38 5.6%	16 2.4%	674	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.04	222 33.1%	301 44.9%	113 16.8%	25 3.7%	10 1.5%	671	3
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.10	284 42.2%	248 36.8%	84 12.5%	40 5.9%	17 2.5%	673	1
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.72	171 25.5%	187 27.9%	281 41.9%	20 3.0%	12 1.8%	671	3

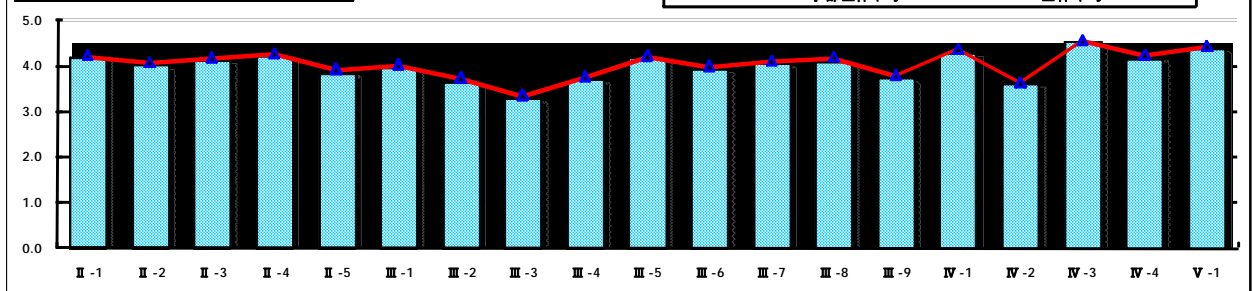
IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	学部全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.29	320 47.5%	256 38.0%	72 10.7%	19 2.8%	6 0.9%	673	1
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.61	189 28.0%	165 24.5%	232 34.4%	47 7.0%	41 6.1%	674	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.53	434 64.5%	172 25.6%	60 8.9%	3 0.4%	4 0.6%	673	1
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.17	285 42.5%	265 39.6%	79 11.8%	28 4.2%	13 1.9%	670	4

V. 総合評価

No.	設問文	学部全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.38	352 52.8%	235 35.2%	62 9.3%	15 2.2%	3 0.4%	667	7

学部全体と全体平均との設問ごとの比較



2009年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(短期大学部全体)

徳島文理大学

対象者数	164
回答者数	158

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	16	142	0
	10.1%	89.9%	0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	17	13	7	6	108	7
	10.8%	8.2%	4.4%	3.8%	68.4%	4.4%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	95	56	6	1	0
	60.1%	35.4%	3.8%	0.6%	0.0%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	58	5	2	18	39	36
	36.7%	3.2%	1.3%	11.4%	24.7%	22.8%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.32	69 43.7%	73 46.2%	14 8.9%	1 0.6%	1 0.6%	158	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.25	62 39.2%	76 48.1%	18 11.4%	2 1.3%	0 0.0%	158	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.32	69 43.9%	72 45.9%	14 8.9%	1 0.6%	1 0.6%	157	1
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.36	79 50.0%	57 36.1%	22 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	158	0
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.21	68 43.9%	57 36.8%	25 16.1%	4 2.6%	1 0.6%	155	3

III. 大学の施設および支援体制について

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	4.23	65 41.1%	65 41.1%	27 17.1%	1 0.6%	0 0.0%	158	0
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	4.13	59 37.3%	66 41.8%	27 17.1%	6 3.8%	0 0.0%	158	0
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.63	31 20.0%	51 32.9%	58 37.4%	14 9.0%	1 0.6%	155	3
4	体育施設は充実していましたか	3.96	48 30.8%	57 36.5%	48 30.8%	2 1.3%	1 0.6%	156	2
5	図書館は利用しやすかったですか	4.26	77 48.7%	50 31.6%	27 17.1%	3 1.9%	1 0.6%	158	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	4.19	62 39.2%	68 43.0%	26 16.5%	0 0.0%	2 1.3%	158	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.30	71 45.2%	63 40.1%	22 14.0%	1 0.6%	0 0.0%	157	1
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.51	90 57.0%	59 37.3%	9 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	158	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.98	53 33.5%	53 33.5%	49 31.0%	2 1.3%	1 0.6%	158	0

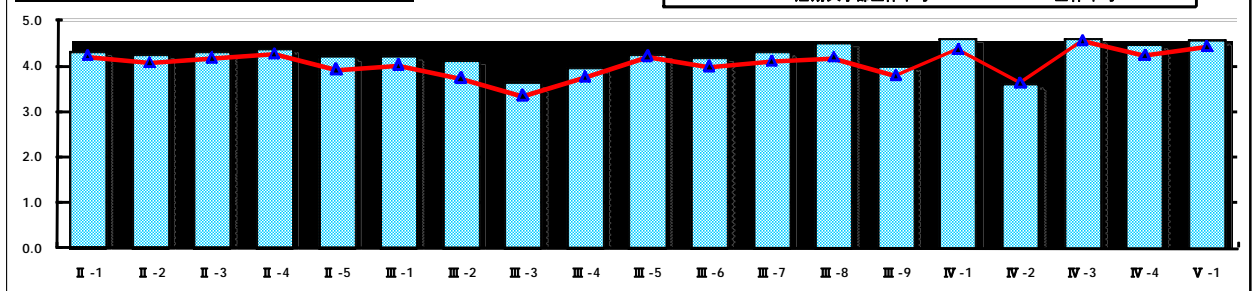
IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	短大全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.61	103 65.2%	50 31.6%	3 1.9%	2 1.3%	0 0.0%	158	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.60	42 26.6%	36 22.8%	63 39.9%	9 5.7%	8 5.1%	158	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.59	104 65.8%	45 28.5%	8 5.1%	1 0.6%	0 0.0%	158	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.46	85 54.1%	61 38.9%	10 6.4%	1 0.6%	0 0.0%	157	1

V. 総合評価

No.	設問文	短大全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.56	98 63.2%	47 30.3%	9 5.8%	1 0.6%	0 0.0%	155	3

短期大学部全体と全体平均との設問ごとの比較



2009年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(全体) 徳島文理大学

対象者数	934
回答者数	832

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効	クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	337	495	0		153	128	51	40	436	24
	40.5%	59.5%	0.0%		18.4%	15.4%	6.1%	4.8%	52.4%	2.9%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効	卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	337	477	6	7	5		329	97	16	86	260	44
	40.5%	57.3%	0.7%	0.8%	0.6%		39.5%	11.7%	1.9%	10.3%	31.3%	5.3%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.21	320 38.5%	398 47.8%	91 10.9%	17 2.0%	6 0.7%	832	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.06	236 28.4%	437 52.5%	130 15.6%	27 3.2%	2 0.2%	832	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.16	311 37.5%	387 46.6%	98 11.8%	25 3.0%	9 1.1%	830	2
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.25	350 42.2%	364 43.9%	94 11.3%	14 1.7%	7 0.8%	829	3
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	3.91	274 33.1%	304 36.8%	175 21.2%	50 6.0%	24 2.9%	827	5

III. 大学の施設および支援体制について

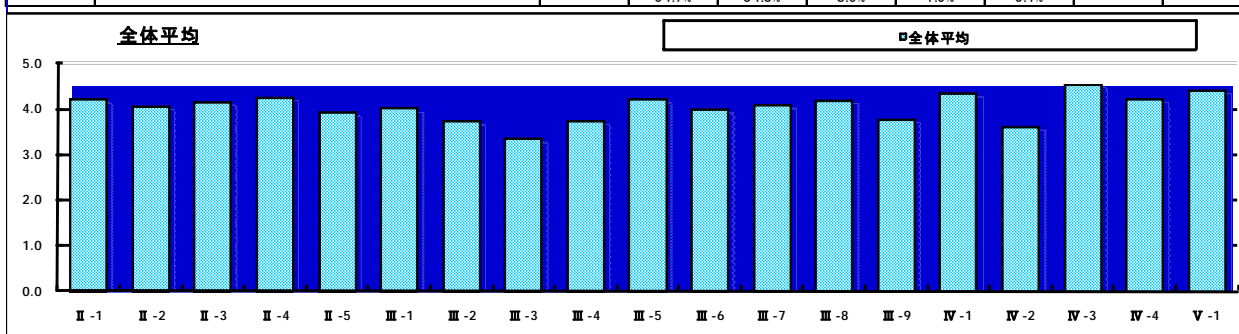
No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	4.01	273 32.9%	353 42.5%	160 19.3%	30 3.6%	15 1.8%	831	1
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.72	234 28.2%	282 34.0%	202 24.4%	73 8.8%	38 4.6%	829	3
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.34	144 17.4%	208 25.1%	314 37.9%	113 13.6%	49 5.9%	828	4
4	体育施設は充実していましたか	3.74	213 25.7%	280 33.8%	273 32.9%	36 4.3%	27 3.3%	829	3
5	図書館は利用しやすかったですか	4.20	389 46.9%	282 34.0%	111 13.4%	36 4.3%	12 1.4%	830	2
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.98	272 32.7%	345 41.5%	159 19.1%	38 4.6%	18 2.2%	832	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.09	293 35.4%	364 44.0%	135 16.3%	26 3.1%	10 1.2%	828	4
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.18	374 45.0%	307 36.9%	93 11.2%	40 4.8%	17 2.0%	831	1
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.77	224 27.0%	240 29.0%	330 39.8%	22 2.7%	13 1.6%	829	3

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.35	423 50.9%	306 36.8%	75 9.0%	21 2.5%	6 0.7%	831	1
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.61	231 27.8%	201 24.2%	295 35.5%	56 6.7%	49 5.9%	832	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.54	538 64.7%	217 26.1%	68 8.2%	4 0.5%	4 0.5%	831	1
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.22	370 44.7%	326 39.4%	89 10.8%	29 3.5%	13 1.6%	827	5

V. 総合評価

No.	設問文	全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.41	450 54.7%	282 34.3%	71 8.6%	16 1.9%	3 0.4%	822	10



2009年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(大学院全体)

徳島文理大学

対象者数	98
回答者数	72

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	43	29	0
	59.7%	40.3%	0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	11	1	3	2	55	0
	15.3%	1.4%	4.2%	2.8%	76.4%	0.0%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	15	56	0	1	0
	20.8%	77.8%	0.0%	1.4%	0.0%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	33	19	1	3	14	2
	45.8%	26.4%	1.4%	4.2%	19.4%	2.8%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.11	27 37.5%	30 41.7%	11 15.3%	4 5.6%	0 0.0%	72	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.01	18 25.4%	37 52.1%	15 21.1%	1 1.4%	0 0.0%	71	1
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.22	27 37.5%	36 50.0%	8 11.1%	0 0.0%	1 1.4%	72	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.21	30 42.9%	30 42.9%	7 10.0%	1 1.4%	2 2.9%	70	2
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	3.73	20 28.6%	27 38.6%	13 18.6%	4 5.7%	6 8.6%	70	2

III. 大学の施設および支援体制について

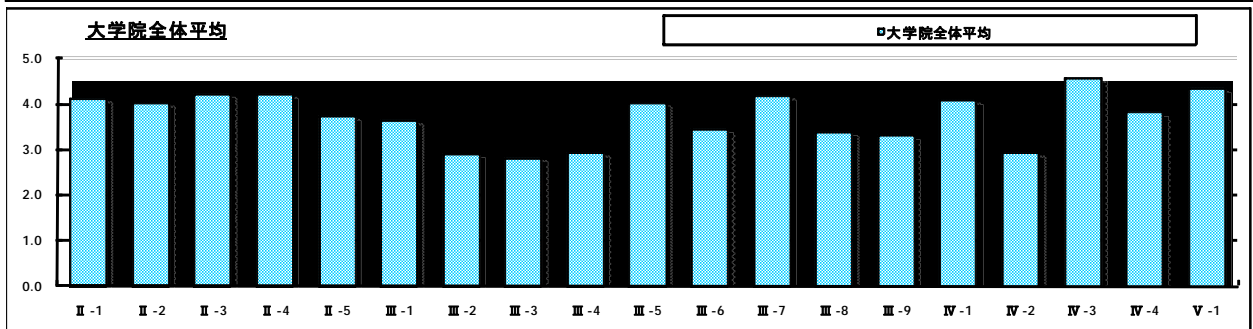
No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	3.64	15 21.4%	25 35.7%	24 34.3%	2 2.9%	4 5.7%	70	2
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	2.90	6 8.5%	16 22.5%	22 31.0%	19 26.8%	8 11.3%	71	1
3	保健センターは利用しやすかったですか	2.82	6 8.3%	11 15.3%	32 44.4%	10 13.9%	13 18.1%	72	0
4	体育施設は充実していましたか	2.93	3 4.2%	17 23.6%	34 47.2%	8 11.1%	10 13.9%	72	0
5	図書館は利用しやすかったですか	4.03	26 36.1%	29 40.3%	11 15.3%	5 6.9%	1 1.4%	72	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	3.46	12 16.7%	22 30.6%	28 38.9%	7 9.7%	3 4.2%	72	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.17	29 40.8%	28 39.4%	11 15.5%	3 4.2%	0 0.0%	71	1
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	3.39	15 20.8%	23 31.9%	18 25.0%	7 9.7%	9 12.5%	72	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	3.31	7 9.7%	21 29.2%	34 47.2%	7 9.7%	3 4.2%	72	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	大学院全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.08	34 47.2%	22 30.6%	9 12.5%	2 2.8%	5 6.9%	72	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	2.93	4 5.6%	10 13.9%	43 59.7%	7 9.7%	8 11.1%	72	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.56	52 72.2%	12 16.7%	6 8.3%	0 0.0%	2 2.8%	72	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	3.82	20 28.2%	29 40.8%	15 21.1%	3 4.2%	4 5.6%	71	1

V. 総合評価

No.	設問文	大学院全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.34	33 46.5%	32 45.1%	4 5.6%	1 1.4%	1 1.4%	71	1



2009年度 卒業生満足度評価アンケート集計結果(専攻科全体)

徳島文理大学

対象者数	24
回答者数	24

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	11	13	0
	45.8%	54.2%	0.0%

クラブ サークル	体育系	文化系	同好会	その他	所属なし	無効
	2	1	1	1	18	1
	8.3%	4.2%	4.2%	4.2%	75.0%	4.2%

在学中の 住居	自宅	下宿・アパート	学生寮	その他	無効
	6	18	0	0	0
	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%

卒業後の 進路	会社員	公務員	自営業	進学	未定	無効
	4	2	1	2	15	0
	16.7%	8.3%	4.2%	8.3%	62.5%	0.0%

II. 授業・教育課程について(全体として)

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.04	7 29.2%	12 50.0%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%	24	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.13	8 33.3%	12 50.0%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	24	0
3	専門的な知識や技能を身につけることができましたか	4.13	9 37.5%	10 41.7%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%	24	0
4	教育に対する教員の熱意は感じられましたか	4.38	13 54.2%	7 29.2%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	24	0
5	免許・資格を取得する課程は充実していましたか	4.13	11 45.8%	7 29.2%	5 20.8%	0 0.0%	1 4.2%	24	0

III. 大学の施設および支援体制について

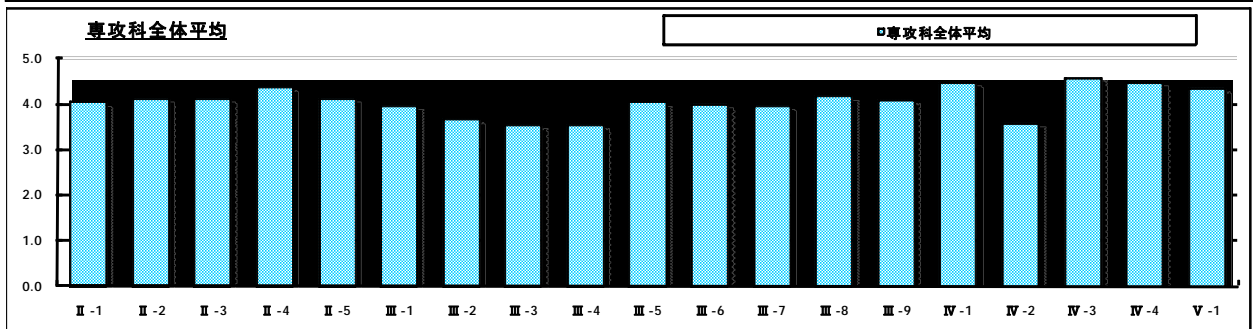
No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	科目の履修についての支援は役に立ちましたか	3.96	7 29.2%	9 37.5%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	24	0
2	就職(進学)についての支援は役に立ちましたか	3.67	5 20.8%	9 37.5%	8 33.3%	1 4.2%	1 4.2%	24	0
3	保健センターは利用しやすかったですか	3.54	8 33.3%	3 12.5%	10 41.7%	0 0.0%	3 12.5%	24	0
4	体育施設は充実していましたか	3.54	7 29.2%	2 8.3%	13 54.2%	1 4.2%	1 4.2%	24	0
5	図書館は利用しやすかったですか	4.04	9 37.5%	8 33.3%	6 25.0%	1 4.2%	0 0.0%	24	0
6	情報設備やソフトウェアは利用しやすかったですか	4.00	8 33.3%	8 33.3%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	24	0
7	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	3.96	7 29.2%	9 37.5%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	24	0
8	食堂や購買・コンビニは利用しやすかったですか	4.17	11 45.8%	8 33.3%	3 12.5%	2 8.3%	0 0.0%	24	0
9	経済支援(奨学金等)の体制は整っていましたか	4.08	11 45.8%	5 20.8%	7 29.2%	1 4.2%	0 0.0%	24	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	専攻科全体 平均点	上段: 回答数 / 下段: 回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.48	15 65.2%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	23	1
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.58	7 29.2%	2 8.3%	14 58.3%	0 0.0%	1 4.2%	24	0
3	信頼できる教員や友人に出会えましたか	4.58	16 66.7%	6 25.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	24	0
4	大学周辺の生活環境はよかったですか	4.48	12 52.2%	10 43.5%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	23	1

V. 総合評価

No.	設問文	専攻科全体 平均点	回答率 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.33	12 50.0%	8 33.3%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	24	0





# FD 研究部会活動報告書

平成 19 年 12 月～平成 22 年 3 月

---

---

平成 22 年 5 月発行

編 集 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 FD 研究部会  
発 行 徳島文理大学  
徳島キャンパス 〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示 180  
電話：088-602-8000(代表)  
香川キャンパス 〒769-2193 香川県さぬき市志度 1314-1  
電話：087-894-5111(代表)

---

---